



八日市まち協だより

第66号
令和5年3月発行

防災プロジェクト

防災プロジェクトでは、地震、風水害、火災などによる大規模災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、講習会や情報交換に取り組んでいます。

■初めての防災実践講習会、11月27日八日市消防署で実施

大規模災害に備えて、地域防災の要である自主防災組織の活性化、地域防災力の向上を図るため、八日市消防署の指導で防災実践講習会を開催しました。各総自治会から40名に参加いただき、基本的な放水訓練に加えて、ガレキに埋まった人を救出する訓練を行いました。

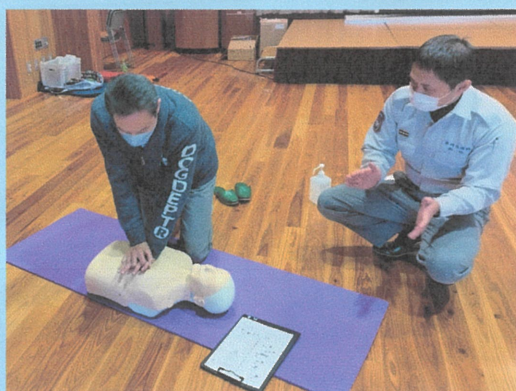


ガレキからの救出訓練



簡易タンカでの搬送訓練

■普通救命講習会を1月22日に開催



心停止の人がいたら、まずは胸骨圧迫による心肺蘇生。一定のリズムで続けることが大切です。

AEDが到着したら、胸骨圧迫を続けながらパッドを貼ります。あとはAEDが音声で案内してくれます。



いざ、という時に大切な人や家族の尊い命を救うために、八日市消防署の指導で救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動）と、気道異物除去や止血法などの応急手当の講習会を開催しました。会場の八日市コミュニティーセンターには、一般参加の11名と各総自治会からの18名、計29名の参加があり、全員普通救命講習修了証の交付を受けられました。

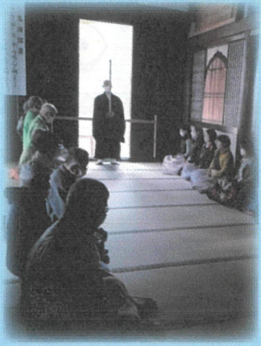
※2月のコミセンだよりで募集しました「我が家の防災対策」は、まとまりましたら皆様にお知らせします。

小嶋松治



箕作山麓里・山づくりプロジェクト

箕作山麓の自然環境の保全とハイキング道の整備。秋のハイキングでは瓦屋禅寺で座禅体験をしました。



延命夢クラブ

延命公園にかつての賑わいを取り戻そうと、月1回剪定作業やプランターの植え替えをしています。



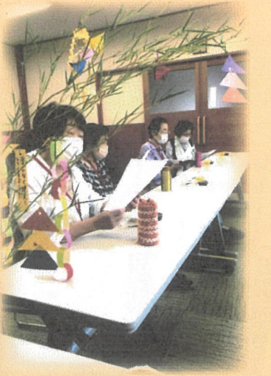
子育て支援プロジェクト

毎月1~2回、ぽっぴのひろばをコミセンで開催。未就園児と保護者のあそびと交流の場です。



いきいき あったかさロン

寝たきりや認知症を予防し、健康寿命を延ばすため、毎月1回第1金曜日にコミセンで開催しています。



清水川湧遊プロジェクト

その名のとおりきれいな湧水の清水川。皆さんの憩いの場として環境保全に努めています。



花いっぱいプロジェクト

町を花でいっぱいにしようというプロジェクト。令和5年度からは、東本町と緑町で取り組みを続けます。



冒険遊び場づくりプロジェクト

基本は、自分の責任で自由に遊ぶ。毎月第3日曜日、大水公園で開催しています。



八日市つながりプロジェクト

顔が見える八日市、声がかげられる八日市を合言葉に、毎月8日に「はちのひカフェ」をコミセンで開催しています。



まち鉄プロジェクト

近江鉄道を活かしたまちづくりを考えます。近江鉄道無料デイには、マンボの秘密と飛行場線跡探訪ウォーキングを実施しました。



East Rainbow☆に協賛して、コミセン駐車場でイルミネーションで飾りました。



溜池を利用して、平田地区上羽田は早くから開発が進んだ。明治7年の上羽田村地引分間絵図には、1段毎の条里制地割が施された長地型の田が一面に描かれている。それを表す数詞と坪のついた市の坪、四ノ坪、十ヶ坪(トガツポ)等の小字名が今も残る。

条里制とは奈良時代の終わり頃から平安時代にかけて実施された日本最初の土地区画整理で、田地を1町(60歩=109m)四方に区切り、この基準となる区画単位を「坪(ツポ)」と呼んだ。坪を縦に6個並べ1条、坪を横に6個並べ1里とした。その結果、1条1里毎に36坪を持つ事から、〇条×里の△坪とすることで、その土地の面積や位置を特定することが可能になった。更に、1坪(60×60歩)を10等分し

あれやこれや 其の二十二 条里制の巻

て「段(タン)」とした。単純に10等分した6×60歩の長地(ナガジ)型と折半してから5等分する12×30歩の半折(ハオリ)型があるがいずれも1段である。

荘園の衰退と共に次第に条里呼称は呼ばれなくなるが、新田以外の地割は条里制地割が踏襲された。しかし昭和30年代の圃場整備事業で田地が1区画30アールに統一され、殆どの条里制区割りは消滅した。

旧八日市市には、前述以外にも条里制に由来すると思われる小字名が存在する。上羽田(十四、七ノ町、倉地)、中羽田(八之町)、下羽田(唯六、十ノ町、六ノ町、八ノ町)、上平木(十六、三十坪)、外(十八)、川合寺(二十四、八ツ田、三十内、北三十六、南三十六)である。森野吉雄さん

歴史文化プロジェクト



1月16日から2月10日まで、湖東信用金庫本店のロビーに「八日市ふるさと絵屏風」を展示いたしました。
3月21日から26日まで、県立美術館でも展示いたします。

2月28日、御園小学校3年生の地域学習で「八日市ふるさと絵屏風」の出前授業に行ってきました。



「八日市ふるさと絵屏風」は、八日市コミュニティセンターや各自治会館などにレプリカを展示していただいています。また、小学校や地域のサロンでの出前講座もいたしますので、ご希望があれば八日市コミセンまでご連絡ください。

近江鉄道の映画「ガチャコン！」 青春篇に清水町民が主演いや出演 いやエキストラです(*´ω`)



清水町民の新八日市駅での爆笑シーン。
みなさん、いいお顔でした。

映画「ガチャコン！—青春編—」
近江鉄道が紡ぐ
八日市高校生の青春物語！

オープニング
上映会

4/16 公開

参加費無料

2022年7月、制作費ゼロの活動からスタートした映画「ガチャコン！」第二弾制作プロジェクト。217名385回から総額約260万円もの時間をいただきました。
また、エキストラとして俳優の皆さんと総額約200名に恵まれました。とくに、
湖東信用金庫八日市支店をはじめとする地域の学校や団体、企業の方々の多大なるご協力のおかげで実現しました。
さらには、清水町民の皆さんもエキストラとして、オープニングで選ばれた近江鉄道清水町駅で、
本作以上に多くの皆さんのご協力とご支援のおかげで実現した素晴らしい作品をぜひご覧ください。

東近江市立八日市文化芸術会館 ホール（東近江市青雲町3-549）
※ 定員超過 八日市駅前から徒歩1分、八日市駅から徒歩14分
※ 車よこっぴバス（タクシー）文庫部・貸車部・貸車部・貸車部まで

午前部 10:00-12:00 (9:30開場)
午後部 14:00-16:00 (13:30開場)
定員 各回500名 (申し込み不要、先着順)

映画 公共交通機関（近江鉄道、バス）でお越しください。
公共交通機関で来られた方、各回先着250名に特製おまけをプレゼント！

主催 近江鉄道映画制作実行委員会 問合せ先 090-5251-3376 担当：奥村

片言隻句

様々な活動が自粛され4年目です。

昨年十一月、清水町防災訓練が久方振りに行われまして。集合場所へ向かう道すがら「元気？」「どうしてる？」とマスク越しに出会う人との弾む声飛び交っています。集合場所ではプチ会合らしき会話も見受けられます。また、参加されていない方の心配をされる様子もあります。

もちろん、「主」は防災訓練！消火栓開栓のやり方、ホースを持ち消火する貴重な体験は緊張しました。訓練中のお喋りは不謹慎？ではなく、近況を語り合う場でもありました。この日の訓練は、人との繋がりが、気遣う心を改めて気づかせてくれた時間でした。

春には自粛が解かれ、コミュニケーションの機会が増えることを期待します。

田中美恵子



編集発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp

